



## 平成26年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月30日

上場取引所 東

上場会社名 菱洋エレクトロ株式会社

コード番号 8068 URL <http://www.ryoyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大内 孝好

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長

(氏名) 堀切 豊

TEL 03-3543-7710

四半期報告書提出予定日 平成25年6月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年1月期第1四半期の連結業績(平成25年2月1日～平成25年4月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年1月期第1四半期	20,461	△8.4	412	△9.7	478	8.5	317	42.1
25年1月期第1四半期	22,326	1.9	457	2.7	441	△11.0	223	△37.0

(注) 包括利益 26年1月期第1四半期 1,010百万円 (122.9%) 25年1月期第1四半期 453百万円 (5.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年1月期第1四半期	12.30	12.26
25年1月期第1四半期	8.65	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年1月期第1四半期	73,475	61,926	84.2	2,395.81
25年1月期	72,490	61,303	84.5	2,371.67

(参考) 自己資本 26年1月期第1四半期 61,876百万円 25年1月期 61,252百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年1月期	—	15.00	—	15.00	30.00
26年1月期	—	—	—	—	—
26年1月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年1月期の連結業績予想(平成25年2月1日～平成26年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	44,000	△1.5	450	△1.9	550	11.8	350	46.3	13.55
通期	90,000	3.2	1,100	52.3	1,300	42.9	800	88.8	30.98

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
  - ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、四半期決算短信(添付資料)4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年1月期1Q	28,800,000 株	25年1月期	28,800,000 株
② 期末自己株式数	26年1月期1Q	2,973,218 株	25年1月期	2,973,074 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年1月期1Q	25,826,825 株	25年1月期1Q	25,827,635 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9
4. 補足情報 .....	10
(1) 品目別売上高 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における国内経済は、昨年末からの円安・株高の進行や米国経済の緩やかな持ち直しなどを背景に、景気回復への期待感が始まっています。

その一方で、当社グループが属するエレクトロニクス業界は、最終需要の低迷や市場の構造変化により、半導体関連は厳しい状況が継続しました。また、コンピュータ関連につきましても、インフラ系などの一部分野を除き、企業のIT投資に一服感がみられました。

このような環境の中で当社グループは、主力商品の各種半導体や、システム情報機器・ネットワーク関連商品等の販売、さらには中長期的な収益の拡大に向けた高付加価値型のサービス・ソリューションの展開に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は204億61百万円（前年同期比8.4%減）、営業利益は4億12百万円（前年同期比9.7%減）、経常利益は4億78百万円（前年同期比8.5%増）、四半期純利益は3億17百万円（前年同期比42.1%増）となりました。

売上高の品目別の概況は次のとおりです。

#### (半導体)

売上高は104億53百万円で、前年同期より10億10百万円（8.8%）減少しました。

- ・集積回路の売上高は68億56百万円で、前年同期より11億42百万円（14.3%）減少しました。  
これは、パソコン周辺機器向けロジックICが減少したためです。
- ・半導体素子の売上高は35億96百万円で、前年同期より1億31百万円（3.8%）増加しました。  
これは、産業機器向けパワー半導体が増加したためです。

#### (システム情報機器)

売上高は79億75百万円で、前年同期より9億65百万円（10.8%）減少しました。

これは、パソコン向けソフトウェアが減少したほか、昨年まで好調であったシステム案件の需要が一巡したためです。

#### (電子部品他)

売上高は20億33百万円で、前年同期より1億11百万円（5.8%）増加しました。

これは、通信や産業用途向け液晶が増加したためです。

セグメントの業績概況は次のとおりです。

#### ① 日本

パソコン向けソフトウェアやパソコン周辺機器向けロジックICが減少したことにより、外部顧客への売上高は173億20百万円となり、前年同期より16億31百万円（8.6%）減少し、セグメント利益は3億60百万円となり、前年同期より1億10百万円（23.5%）減少しました。

#### ② アジア

モバイル端末向け半導体が増加したことにより、外部顧客への売上高は31億41百万円となり、前年同期より2億33百万円（6.9%）減少し、セグメント利益は36百万円となり、前年同期より29百万円（451.9%）増加しました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産は734億75百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億85百万円増加しました。これは、主に商品及び製品が増加したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末の負債は115億48百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億62百万円増加しました。これは、主に賞与引当金及び繰延税金負債が増加したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は619億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億23百万円増加しました。これは、主にその他有価証券評価差額金及び為替換算調整勘定が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点においては、平成25年3月7日に公表した数値から変更ありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成25年2月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,226	14,587
受取手形及び売掛金	23,295	23,140
有価証券	10,999	9,000
商品及び製品	11,348	12,755
繰延税金資産	119	183
その他	583	802
貸倒引当金	△20	△13
流動資産合計	59,551	60,455
固定資産		
有形固定資産	265	257
無形固定資産	602	606
投資その他の資産		
投資有価証券	10,884	10,948
その他	1,188	1,210
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	12,070	12,156
固定資産合計	12,938	13,020
資産合計	72,490	73,475
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,937	8,954
未払法人税等	180	230
未払消費税等	21	5
賞与引当金	110	228
その他	904	900
流動負債合計	10,153	10,319
固定負債		
退職給付引当金	889	896
繰延税金負債	46	236
その他	95	95
固定負債合計	1,032	1,229
負債合計	11,186	11,548

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,672	13,672
資本剰余金	13,336	13,336
利益剰余金	37,987	37,917
自己株式	△3,295	△3,295
株主資本合計	61,700	61,630
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	514	846
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	△962	△600
その他の包括利益累計額合計	△447	245
新株予約権	50	50
純資産合計	61,303	61,926
負債純資産合計	72,490	73,475



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年2月1日 至 平成24年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年2月1日 至 平成25年4月30日)
売上高	22,326	20,461
売上原価	20,260	18,473
売上総利益	2,065	1,988
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	3	△7
給料及び賞与	599	608
賞与引当金繰入額	95	117
退職給付費用	46	34
賃借料	111	89
減価償却費	31	46
その他	721	688
販売費及び一般管理費合計	1,608	1,575
営業利益	457	412
営業外収益		
受取利息	35	39
受取配当金	2	10
仕入割引	2	2
為替差益	—	8
その他	9	6
営業外収益合計	51	67
営業外費用		
売上割引	0	0
為替差損	64	—
固定資産廃棄損	2	0
その他	0	0
営業外費用合計	67	1
経常利益	441	478
税金等調整前四半期純利益	441	478
法人税、住民税及び事業税	245	218
法人税等調整額	△28	△57
法人税等合計	217	160
少数株主損益調整前四半期純利益	223	317
四半期純利益	223	317

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	223	317
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	51	332
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	177	361
その他の包括利益合計	229	693
四半期包括利益	453	1,010
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	453	1,010
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

① 前第1四半期連結累計期間（自平成24年2月1日 至平成24年4月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	日本	アジア	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,951	3,374	22,326	—	22,326
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,149	60	1,210	△1,210	—
計	20,101	3,435	23,536	△1,210	22,326
セグメント利益	471	6	477	△20	457

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

② 当第1四半期連結累計期間（自平成25年2月1日 至平成25年4月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	日本	アジア	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,320	3,141	20,461	—	20,461
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,290	23	1,313	△1,313	—
計	18,610	3,164	21,775	△1,313	20,461
セグメント利益	360	36	396	15	412

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

#### 4. 補足情報

##### (1) 品目別売上高

		前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年2月1日 至 平成24年4月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年2月1日 至 平成25年4月30日)		増減額 (百万円)
		金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
半導体	集積回路	7,999	35.9	6,856	33.5	△1,142
	半導体素子	3,464	15.5	3,596	17.6	131
	小計	11,464	51.4	10,453	51.1	△1,010
システム情報機器		8,940	40.0	7,975	39.0	△965
電子部品他		1,921	8.6	2,033	9.9	111
合計		22,326	100.0	20,461	100.0	△1,864